

自動分注ロボット OT-2







- ●仕様
- ●アプリケーション
- ●OT-2使用の流れ



仕様







- オープンソースの分注ロボット
- 最大2本のピペットを装着可能
- ピペットの交換はネジ3本とコネクタを外すのみ
- 最大11個のラボウェアを設置可能
- ▶ 96ウェルプレート, 384プレート, 細胞培養用プレート等にも対応
- 規則正しく整列されていれば、特殊なプレート も使用可能
- 使用するソフトウエアは無料

オプション品



P300 : 20~300µl

P1000: 100~1,000µl



磁気モジュール



サーモサイクラー

Multi-Channel (GEN2)

P20 :1~20μl

P300 : 20~300µl



温度モジュール



仕様

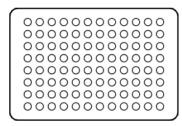


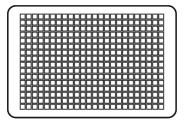


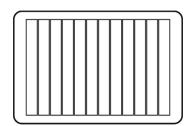


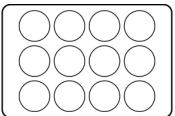
- 最大2本のピペットを装着可能
- ピペットの交換はネジ3本とコネクタを外すのみ
- 最大11個のラボウェアを設置可能
- 96ウェルプレート, 384プレート, 細胞培養用プレート等にも対応
- 規則正しく整列されていれば、特殊なプレート も使用可能
- 使用するソフトウェアは無料

→SBSフォーマットと同じか小さいサイズで規則正しく並んでいる容器であれば使用可能です。









SBSフォーマット 127.76 × 85.48 mm



アプリケーション



- 1. チェリー・ピッキング
- 2. 結晶化プレートへの分注
- 3. 磁気ビーズによる核酸精製
- 4. オルガノイド作成時の分注
- 5. PCR産物の濃度のノーマライズ
- 6. 長時間・定期的な試薬分注
- 7. 劇薬の分注
- 8. サンプルとバッファーの混合率を変えた分注
- 9. 電子基盤作成のための溶液分注
- 10. 自社測定装置への分注
- 11.24ウェルプレートから96ウェルプレートへ分注
- 12. サンプル濃度のノーマライゼーション

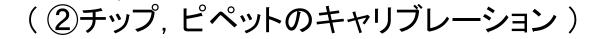
など

プロトコルはPython APIを用いてのプログラム作成、webアプリを使用しての作成、メーカーWEBからのダウンロードが可能です。





①プロトコル作成 = どういった動作をさせるか決める。



③プロトコルのアップロード

④ポジションチェック(チップラック, プレート, チューブラック)

⑤プログラム実行!



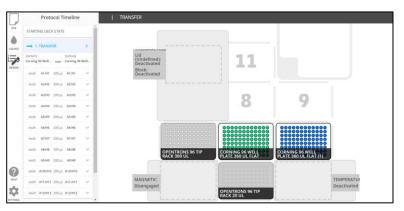
- ①プロトコル作成
 - 1:Python APIを用いた作成
 - ⇒自由度が高いプロトコル作成方法
 - ⇒ある程度Pythonの知識が必要

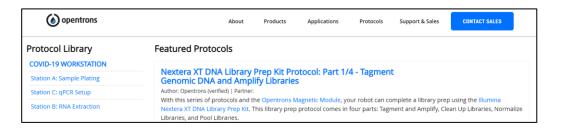
- 2: Protocol Designer
 - ⇒モジュールの使用を含めて自分 好みのプロトコルを作成できる
 - ⇒ウェブベースで簡単に利用でき,
 - 視覚的にもわかりやすい

- 3:メーカーウェブからダウンロード
 - ⇒自分の目的に当てはまるものが あればすぐに使える







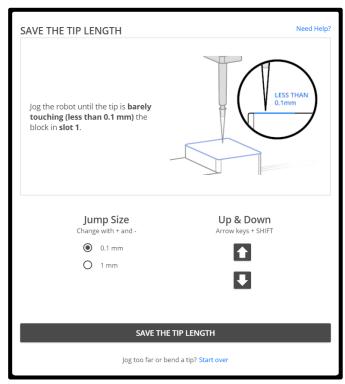




②チップ, ピペットのキャリブレーション

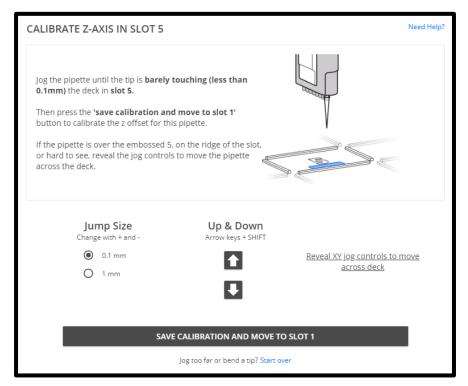


チップのキャリブレーション



チップの長さのキャリブレーションを実施します

ピペットのキャリブレーション



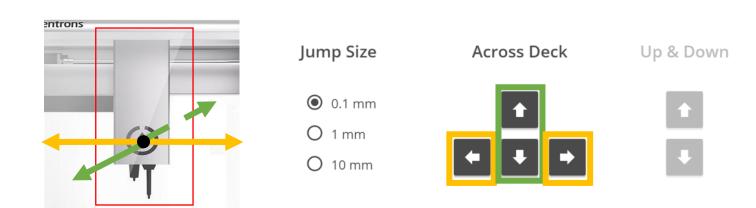
ピペットのX,Y,Z軸の位置キャリブレーションを実施します

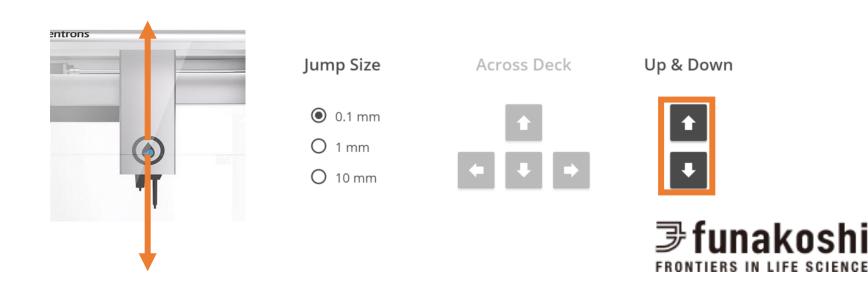


②チップ, ピペットのキャリブレーション

アプリ上のコントロールパネルのボタンでピペット位置を調整していきます



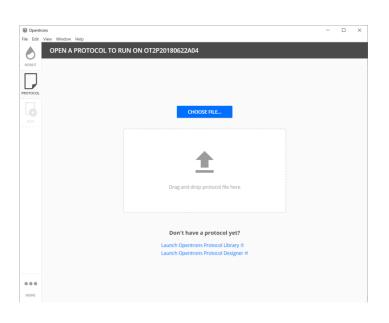




③プロトコルのアップロード

作成、ダウンロードしたプロトコルファイルを専用アプリにアップロードする事で、プロトコルを実行する事ができます

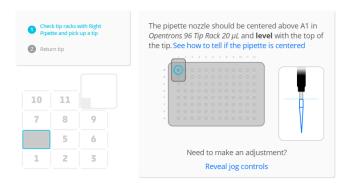




④ポジションチェック(チップラック, プレート, チューブラック)

プロトコル実行前に、使用するチップラック、プレートなどの位置合わせを実施します

CHECK LABWARE OPENTRONS 96 TIP RACK 20 ML IN SLOT 4



CONFIRM POSITION, PICK UP TIP



⑤プログラムの実行

アプリにて実行ボタンを押すことで、 プログラムが開始します



